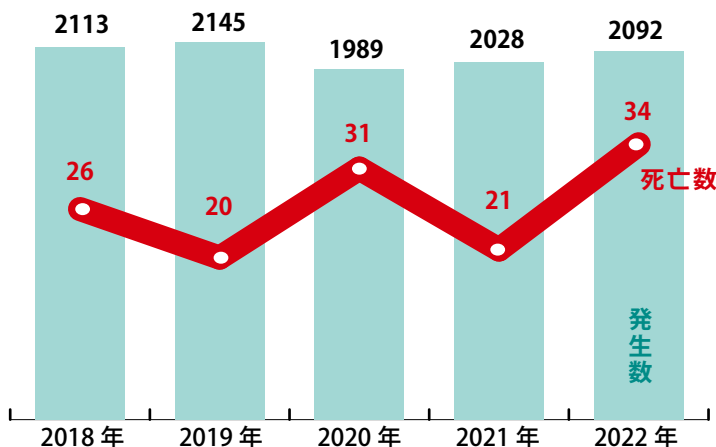




労働災害統計でみる フォークリフト災害の現状と 皆さまの声

厚生労働省 2022年労働災害統計より

●フォークリフト労働災害の推移(人)



フォークリフトの労働災害は、2020年に減少に転じたものの、その後は少しずつではありますが増加傾向にあります。また死亡数は、増減があるものの中期的には増加傾向にあり、2022年は大幅にその数を増やしました。通販ビジネスの拡大など物流環境が多忙になる中、依然としてフォークリフト災害は看過できない状態であることを示しています。

●起因物別 労働災害発生と死亡数(人)

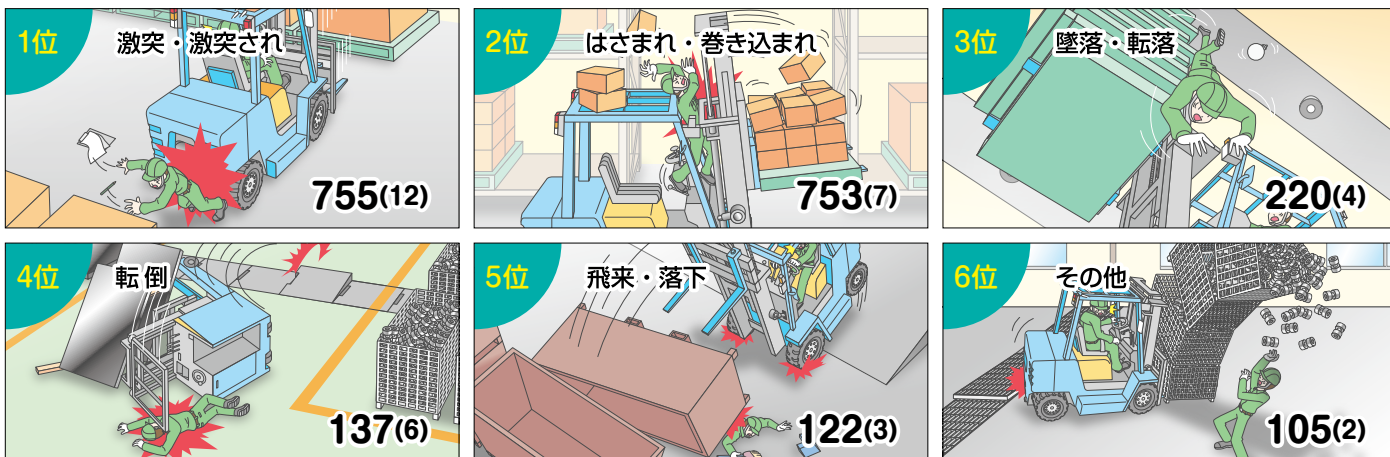
起因物	発生数	起因物	死亡数
トラック	8,788	トラック	112
荷姿の物	7,338	乗用車、バス、バイク	69
乗用車、バス、バイク	7,320	フォークリフト	34
はしご等	5,589	はしご等	27
人力運搬機	4,208	掘削用機械	26
手工具	3,204	荷姿の物	16
フォークリフト	2,092	エレベーター、リフト	12
食品加工用機械	1,503	玉掛用具	12



起因物別にみると、毎年フォークリフトによる死亡災害は上位に位置付けられ、動力機械・物上げ装置・運搬機械の区分内では『トラック』『乗用車、バス、バイク』に次いで、災害が起きやすい設備となっています。また、発生数に比べ死亡数がさらに上位にあることから、フォークリフトによる労働災害は、重大災害につながりやすいことがわかります。

※「仮設物、建築物、構築物等」「物質、材料」「環境等」「その他」などを除く、起因物別発生数上位の比較

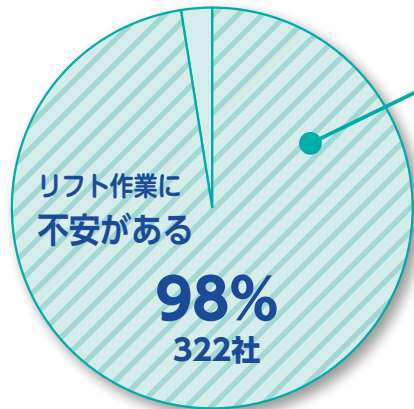
●事故型別フォークリフト労働災害発生と死亡数(人)



フォークリフトの現場には労災や物損の不安が

ツールマートアンケート調査(2021年330社)

Q 労災・物損への不安はありますか？

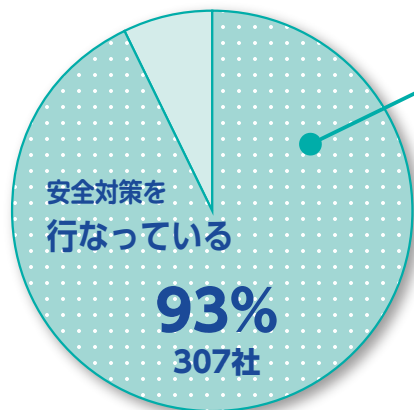


Q どのような不安を感じますか？

(複数回答)

1位	リフト同士や作業員、他の設備への接触 275社
2位	荷物への衝突、接触 242社
3位	荷崩れ 229社
4位	後方の安全確認不足 225社

Q 安全対策を行なっていますか？



Q どのような対策を行なっていますか？

(複数回答)

1位	ヒヤリハット活動やKYT(危険予知訓練) 218社
2位	管理者等による安全パトロール(社内監査含む) 214社
3位	安全衛生のための組織・会議体を設置 191社
4位	現場担当者による日々の指導 165社

Q 安全対策を行なう上で難しいこと、お悩みは何ですか？

(複数回答)

ルールが形だけになっている	164社	安全対策が建前になってしまう	140社
教育しても効果がでない	89社	なかなか強く指導できない	50社
次の一手を会社から求められている	19社	原因がわからないので対応できない	15社



あります！テーマ別の問題の解決方法

フォークリフトの安全対策はこちら



ドライブレコーダー



コンパクトながら最大114時間の長時間録画。必要な機能に特化したシンプル設計。

スピード警告装置



現場の制限速度にあわせ、運転者と周囲作業員へ光と音でスピードオーバーを2段階で警告。

バックアイシステム



リフト後方の死角に潜む作業員や荷物の有無を広角カメラでとらえ、後方確認をサポート。

接近警報システム



建屋の出入り口などでリフト接近注意をアナウンス。出会い頭の接触や衝突防止を助けます。

ワーニングラインライト2



リフトと作業員が混在する現場。離れた作業員へ、リフトの接近をライン光で知らせます。

フォーク水平ランプ



カンタン取付けで、カウンター車のフォーク水平を瞬時に表示。高揚高での荷崩れの心配を軽減。